

所管課		生涯学習部生涯学習課														
施策の大綱	まちづくりの目標(章)		施策分野(節)		施 策											
	第3章 元気創造都市		06 市民スポーツ		02 スポーツ振興の環境を整える											
	事業：スポーツ施設管理運営事業												整理番号	0592		
目的	市民が手軽に身近でスポーツに親しむことができるよう、スポーツ施設の運営管理を行い、施設利用における利用者の安全の確保と利便性の向上を図る。															
目標	施設利用の利便性や公平性を図るためにスポーツ情報システムの効率的な運営を行うとともに、老朽化の著しいスポーツ施設の維持管理を実施する。															
事業費・財源	事業費（決算額）（千円）		93,865		コスト情報・評価	総コスト（千円）		113,766		総合評価 A	妥当性		A			
	財源内訳	一般財源		71,597		内訳	事業費		93,865		効率性		A			
		国府支出金		0			人件費		1,984		有効性		A			
		地方債		0			公債費		17,917		適正な施設の運営管理を行っている。					
		その他特定財源		22,268			一人あたり（円）		1,008							
							世帯あたり（円）		2,413							
	貢献度	施策に対する事業貢献度		A		根拠	適正な施設の管理運営を行っている。									
今後の方向性	円滑なスポーツ施設の運営管理を行い、施設利用における更なる利用者の安全の確保と利便性の向上をめざす。															

事業優先順位		1	細事業:スポーツ施設管理運営事業					整理番号	02
目的		市民が手軽に身近でスポーツに親しむことができるよう、スポーツ施設の運営管理を行い、施設利用における利用者の安全の確保と利便性の向上を図る。							
目標		施設利用の利便性や公平性を図るためにスポーツ情報システムの効率的な運営を行うとともに、老朽化の著しいスポーツ施設の維持管理を実施する。							
事業実施主体	指定管理	事業開始年度	平成10年度以前	根拠法令	河内長野市スポーツ施設情報システムの利用者登録等に関する規則				
事業費・財源	事業費（決算額）（千円）	財源内訳	平成24年度	比較	コスト情報・従事職員数	総コスト（千円）	平成24年度	比較	
			一般財源	93,865		内訳	事業費	113,766	
			国府支出金	71,597		人件費	93,865		
			地方債	0		公債費	1,984		
			体育施設使用料	0		一人あたり（円）	17,917		
			スポーツ施設利用料	40		世帯あたり（円）	1,008		
			オーパス更新料等	22,104		参考	職員数（人）	2,413	
				124		再任用職員数（人）	0.25		
							0.00		
今後の方向性	円滑なスポーツ施設の運営管理を行い、施設利用における更なる利用者の安全の確保と利便性の向上を図る。								
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	河内長野市民				
	A	A	A						

事業：スポーツ施設管理運営事業

市民が身近にスポーツに親しむことができるよう、スポーツ施設の運営管理に指定管理者制度を導入し、施設利用者の利便性の向上を行った。

細事業：スポーツ施設管理運営事業

1. 施設利用状況

スポーツ施設を安全に使用できるよう施設の維持管理を行い、スポーツ環境の整備に努めた。

単位：人

施設		利用人数	利用率 (%)	施設		利用人数	利用率 (%)
市民総合体育館 (競技場・第2競技場・会議室・ 卓球場・トレーニング室)		153,024	－	寺ヶ池公園野球場		32,504	34.6
				天野少年球技場		15,719	22.7
				武道館		28,369	70.1
運 動 場	大師総合運動場	89,734	56.3	庭 球 場	寺ヶ池公園庭球場	32,744	75.6
	下里総合運動場	60,814	24.6		大師庭球場	13,688	48.8
	赤峰市民広場 (野外ステージ・控室・会 議室・研修室)	115,136	－		荘園庭球場	14,285	30.0
				プ ール	寺ヶ池公園プール	16,778	－
					烏帽子形公園プール	9,473	－
ギ ャ ン グ ル 場	赤峰市民広場	742	－	合 計		583,784	－
	岩湧野外活動広場	774	－				

(※利用率は使用時間を利用可能時間で割って算出)

2. オーパス・スポーツ施設情報システム利用状況（メディア別）

オーパス・スポーツ施設情報システムを引き続き運用し、スポーツ施設の運営を円滑にするとともに、利用手続きの簡素化・迅速化により、サービスの向上を図った。

メディア別	音声	街頭端末	インターネット	携帯ウェブ	業務端末	合計
利用件数	2,256	1,856	48,237	1,443	4,887	58,679
構成比(%)	3.8	3.2	82.2	2.5	8.3	100.0

3. スポーツ振興事業

(1) 市民スポーツ大会の開催（計23種目 参加者総数7,136人）

バドミントン、バスケットボール、サッカー、ソフトボール、テニス、バレーボール、ゲートボール、少年軟式野球、ソフトテニス、卓球、軟式野球、剣道、少林寺拳法、居合道、陸上競技、水泳、柔道、ペタンク、グラウンド・ゴルフ、インディアカ、体操フェスティバル、軽スポーツ、スポンジテニス

(2) 大阪府総合体育大会派遣事業（総出場者数 483人）

参加種目 サッカー、ソフトテニス、ソフトボール、卓球、テニス、軟式野球、バスケットボール、バドミントン、バレーボール、剣道

4. 市民スポーツ教室開催事業

(1) トレーニング講習会（実施回数：16回 受講者数：286人）

市民総合体育館トレーニング室の安全かつ効果的な利用を図るため、講習会を開催した。

(2) トレーニング相談（実施回数：12回 相談者数：45人）

市民総合体育館トレーニング室利用者に対し、トレーニング方法などについて、専門トレーナーが指導・相談を行った。